

メディアへの掲載

■開催告知記事（計3紙）

教育学術新聞 平成24年7月25日(水) 2面
「学生寮シンポ 戦略と教育の可能性」(資料画像1)

毎日新聞 平成24年8月15日(水) 夕刊 5面
「もよおし」(資料画像2)

朝日新聞 平成24年8月24日(金) 朝刊 35面
「学びの場としての学生寮」(資料画像3)

■取材記事（計3紙 ※平成24年10月12日時点確認分）

読売新聞 平成24年9月6日(木) 朝刊 14面
「学生寮の教育的効果と課題」(資料画像4)

愛媛新聞 平成24年9月12日(水) 20面
「人間形成機能に注目」(資料画像5)

日経新聞 平成24年9月17日(月) 朝刊 19面
「学生寮、規律継承カギ」(資料画像6)

■当日取材メディア（順不同 計8紙）

読売新聞
朝日新聞
日経新聞
神戸新聞
愛媛新聞
教育学術新聞
日経BP
東洋経済新報社

資料画像

資料画像 1

教育学術新聞 平成 24 年 7 月 25 日(水)

寮の戦略と教育の可能性
お茶の水女子大学学生
支援センターは八月三十
一日(金)学生寮、大学の
戦略と教育の可能性」を
テーマにしたシンポジウ
ムを開催する。立命館アジ
ア太平洋大学、首都大学
東京、京都産業大学、お
茶の水女子大学の取り組
みが発表されるほか、フ

資料画像 2 毎日新聞

平成 24 年 8 月 15 日(水) 夕刊

◆シンポジウム「学生寮 大学の戦略と教育可能性」
31日には、東京都文京区大塚のお茶の水女子大共同講義棟2号館。学生寮をめぐって先進的な取り組みをしているお茶の水女子大、首都大学東京、京都産業大、立命館大の担当者が実践や課題を議論する。申し込みは氏名、所属、メールアドレスを明記し、24日までにメールでkaikuryo-sympo@cc.oocha.ac.jpへ参加希望。

資料画像 3 朝日新聞 平成 24 年 8 月 24 日(金) 朝刊

学びの場としての学生寮
31日、4大学が都内でシンポジウム
学生寮らしき調性やリーダーシップを身につける。本報記者が、お茶の水女子大のシンポジウム「学生寮の戦略と教育の可能性」について取材した。お茶の水女子大の学生寮は、学生寮のありかたについて議論する。お茶の水女子大の学生寮は、学生寮のありかたについて議論する。お茶の水女子大の学生寮は、学生寮のありかたについて議論する。

資料画像 4

読売新聞 平成 24 年 9 月 6 日(木) 朝刊

学生寮の教育的効果と課題 全国の大学関係者でシンポジウム
人間形成の場としての学生寮のあり方を考える「学生寮シンポジウム～大学の戦略と教育可能性」=写真=が8月31日、東京都文京区のお茶の水女子大学で、全国の国公私立大学関係者ら約200人が参加して開かれた。単なる居住施設ではなく教育的効果を期待する施設として寮を設置する同大など4大学が、寮教育の利点と課題を報告した。
首都大学東京は、7年前に開設した「桜都寮」で毎週行うセミナーや年3回の合宿を紹介。京都産業大学は班長中心の運営や共通教育科目「自己発見と大学生活」の受講などを通じ、寮から多数の成績優秀者を出していると説明した。
立命館アジア太平洋大学(大分県)は、留学生と日本人学生の同居により、異文化摩擦を通じた学生の成長を強調。お茶の水女子大は、昨春設置した「お茶大SSC」で、学生による自主企画活動が少ないことから、「初めは様々な仕掛けが必要」と報告した。
シンポジウムを企画した耳塚寛明・同大副学長は「学生の自主性を引き出すために、大学が手取り足取り教えるのは矛盾」と指摘しながらも、「人間形成やグローバル人材育成の場として、寮に期待が集まっている。その教育機能にもっと光を当てる必要がある」と話している。(石塚公康)

資料画像 5

愛媛新聞 平成 24 年 9 月 12 日(水)

人間形成機能に注目
学生寮
奉仕活動義務化/規則細かく...
若者の幼稚化対策も?
東都文京区のお茶の水女子大のシンポジウム「学生寮の戦略と教育可能性」が、8月31日、同大の共同講義棟2号館で開かれた。お茶の水女子大、首都大学東京、京都産業大、立命館大の担当者が実践や課題を議論する。申し込みは氏名、所属、メールアドレスを明記し、24日までにメールでkaikuryo-sympo@cc.oocha.ac.jpへ参加希望。

資料画像 6

日経新聞 平成 24 年 9 月 17 日(月) 朝刊

学生寮、規律継承カギ
お茶の水女子大でシンポジウム
学生寮の規律継承が、寮の教育機能を引き出す鍵となる。お茶の水女子大のシンポジウム「学生寮の戦略と教育可能性」が、8月31日、同大の共同講義棟2号館で開かれた。お茶の水女子大、首都大学東京、京都産業大、立命館大の担当者が実践や課題を議論する。申し込みは氏名、所属、メールアドレスを明記し、24日までにメールでkaikuryo-sympo@cc.oocha.ac.jpへ参加希望。

※全ての記事は、掲載各紙より転載の許諾を得て使用しております。